



平成23年2月期 第1四半期決算短信

平成22年7月6日

上場会社名 米久株式会社

上場取引所 東

コード番号 2290 URL <http://www.yonekyu.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 藤井 明

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員IR室長

(氏名) 青柳 敏文

TEL 055-929-2797

四半期報告書提出予定日 平成22年7月15日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年2月期第1四半期の連結業績(平成22年3月1日～平成22年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|--------|-------|------|-------|------|-------|--------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 23年2月期第1四半期 | 31,747 | △21.4 | 453 | △24.1 | 474 | △22.4 | 294 | 165.7 |
| 22年2月期第1四半期 | 40,410 | — | 598 | — | 611 | — | 110 | — |

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 23年2月期第1四半期 | 10.62 | — |
| 22年2月期第1四半期 | 3.85 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|-------------|--------|--------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 23年2月期第1四半期 | 63,661 | 36,950 | 57.7 | 1,326.56 |
| 22年2月期 | 61,371 | 37,191 | 60.3 | 1,335.32 |

(参考) 自己資本 23年2月期第1四半期 36,762百万円 22年2月期 37,005百万円

2. 配当の状況

| | 1株当たり配当金 | | | | |
|----------------|----------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 22年2月期 | — | 0.00 | — | 18.00 | 18.00 |
| 23年2月期 (予想) | — | 0.00 | — | 18.00 | 18.00 |

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成23年2月期の連結業績予想(平成22年3月1日～平成23年2月28日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|-----------------|---------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第2四半期 連結累計期間 | 70,700 | △14.0 | 920 | △45.5 | 930 | △45.0 | 530 | 13.4 | 18.52 |
| 通期 | 143,000 | △15.2 | 2,500 | △43.0 | 2,530 | △44.3 | 1,400 | △51.1 | 48.93 |

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 —社 (社名) 除外 —社 (社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 有

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|----------------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 23年2月期第1四半期 | 28,809,701株 | 22年2月期 | 28,809,701株 |
| ② 期末自己株式数 | 23年2月期第1四半期 | 1,097,186株 | 22年2月期 | 1,097,186株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) | 23年2月期第1四半期 | 27,712,515株 | 22年2月期第1四半期 | 28,716,620株 |

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間のわが国経済は、輸出の増加などにより最悪期を脱し回復の兆しが見られたものの、引き続き失業率は高い水準で推移するとともに、欧州での経済不安の波及が懸念されるなど、依然として不透明な状況が続いております。

食肉加工品業界におきましても、消費者の低価格志向や市場競争激化による販売価格の下落が続いたことに加え、前年同期に大幅な安値で推移した国内食肉相場も前年並みにとどまり、依然として厳しい状況で推移いたしました。また、本年4月に宮崎県において発生した口蹄疫についても楽観視できない状況が続いております。

このようななか、当社グループは第4次中期経営計画の最終年度として、計画の基本戦略である「規模の拡大」「効率化推進」「連結経営の強化」に引き続き取り組みました。

なお、昨年12月に当社及び当社子会社が保有するチムニー(株)の全株式を譲渡し、同社が連結除外となったことから売上高は大幅に減少いたしました。

以上の結果、当第1四半期連結会計期間の売上高は、317億47百万円（前年同期比21.4%減）となりました。また、利益につきましては、営業利益が4億53百万円（前年同期比24.1%減）、経常利益が4億74百万円（前年同期比22.4%減）、四半期純利益が2億94百万円（前年同期比165.7%増）となりました。

事業分野ごとの状況は次のとおりであります。

加工品事業分野では、主原料価格の低下や採算性の低いアイテムの整理などにより収益性が改善いたしました。しかし、ハム等は消費者の節約志向を受け、お買い得感のある「ショルダーベーコン」が大幅に増加したものの、ローストビーフ等の価格帯の高い製品とともに、これまで順調に数量を伸ばしてきたロースハムなども減少となりました。これらの結果、ハム等全体の売上高・数量は減少いたしました。

また、ソーセージは「あらびきフランク」「御殿場高原シリーズ」が引き続き好調に推移し、輸入品もYONEKYU U.S.A., Inc. による業務用の「B o oシリーズ」が好調に推移したものの、不採算製品の販売中止により、ソーセージ全体の売上高・数量は減少いたしました。

一方、デリカテッセンは「トンカツ」「やきとり」が増加するとともに、子会社であるアンゼンフーズ(株)製造の「春巻」「水餃子」が好調に推移いたしました。これらの結果、デリカテッセン全体の売上高・数量は増加いたしました。

食肉事業分野では、国内相場が豚肉・牛肉において前年並みの水準で、また、鶏肉においては前年を上回る水準で推移するなか、豚肉・牛肉・鶏肉の全ての畜種において、国産・輸入とも数量を伸ばしました。まず、豚肉においては国産豚肉が大幅に増加するとともに、輸入品も昨年数量を落とした北米産冷蔵豚肉の回復などにより増加いたしました。次に、牛肉においては国産牛肉が中・低位グレードを中心に数量を伸ばし、輸入品も豪州産が引き続き好調に推移いたしました。さらに鶏肉においては国産鶏肉の生産能力増強に加え、輸入品も調達コストの低下などにより増加いたしました。これらの結果、食肉全体の売上高・数量は大幅に増加いたしました。

その他の事業分野では、地ビールレストラン経営の御殿場高原ビール(株)が、天候不順等による来店客数の減少により売上高が減少いたしました。和洋菓子の製造販売を行う(株)平田屋は、コンビニ店舗向け洋菓子が大幅に減少し、売上高が減少いたしました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ22億90百万円増加し、636億61百万円となりました。これは商品及び製品の増加などによるものです。

当第1四半期連結会計期間末の負債合計額は、前連結会計年度末に比べ25億31百万円増加し、267億11百万円となりました。これは仕入債務や長期借入金が増加した一方、未払法人税等が減少したことなどによるものです。

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ2億40百万円減少し、369億50百万円となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ11億10百万円増加し、136億19百万円となりました。

活動ごとのキャッシュ・フローの状況は以下のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金は2億22百万円の収入(前年同期は15億96百万円の支出)となりました。これは仕入債務の増加などが法人税等の支払いなどを上回ったためであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金は2億59百万円の支出(前年同期は5億74百万円の支出)となりました。これは加工品製造設備更新等に伴う固定資産の取得や貸付金の増加などによるものであります。

以上の結果、営業活動及び投資活動によるキャッシュ・フローの合計であるフリー・キャッシュ・フローは36百万円のマイナスとなりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金は11億43百万円の収入(前年同期は8億50百万円の支出)となりました。これは借入金の増加などによるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年4月13日に公表しました連結業績予想から修正は行っておりません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更
重要な資産の評価基準及び評価方法の変更
たな卸資産

当第1四半期連結会計期間より、当社及び一部の子会社の原材料・商品の評価方法について、先入先出法による原価法(貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定)から個別法による原価法(貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定)に変更いたしました。

当該会計処理の変更の理由は、新在庫管理システムが本格稼働し、個別法による在庫管理が可能となり、より適正なたな卸資産の評価及び期間損益の計算を行うことを目的としたものであります。なお、この変更に伴い営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は、それぞれ37百万円減少しております。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 当第1四半期連結会計期間末 (平成22年5月31日) | 前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年2月28日) |
|-------------|-------------------------------|------------------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 12,723 | 12,621 |
| 受取手形及び売掛金 | 14,109 | 14,497 |
| 有価証券 | 1,000 | — |
| 商品及び製品 | 6,087 | 3,512 |
| 仕掛品 | 403 | 374 |
| 原材料及び貯蔵品 | 2,937 | 3,786 |
| その他 | 1,253 | 1,202 |
| 貸倒引当金 | △68 | △98 |
| 流動資産合計 | 38,446 | 35,896 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 8,341 | 8,474 |
| 土地 | 8,352 | 8,369 |
| その他(純額) | 2,459 | 2,505 |
| 有形固定資産合計 | 19,153 | 19,348 |
| 無形固定資産 | 1,861 | 1,945 |
| 投資その他の資産 | | |
| その他 | 4,257 | 4,240 |
| 貸倒引当金 | △57 | △60 |
| 投資その他の資産合計 | 4,200 | 4,179 |
| 固定資産合計 | 25,214 | 25,474 |
| 資産合計 | 63,661 | 61,371 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 18,072 | 14,449 |
| 短期借入金 | 1,030 | 610 |
| 未払法人税等 | 133 | 2,481 |
| 引当金 | 499 | 525 |
| その他 | 3,693 | 3,835 |
| 流動負債合計 | 23,428 | 21,902 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 1,320 | 160 |
| 退職給付引当金 | 703 | 698 |
| その他の引当金 | 160 | 271 |
| その他 | 1,099 | 1,147 |
| 固定負債合計 | 3,282 | 2,277 |
| 負債合計 | 26,711 | 24,179 |

(単位：百万円)

| | 当第1四半期連結会計期間末 (平成22年5月31日) | 前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年2月28日) |
|--------------|-------------------------------|------------------------------------------|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 8,634 | 8,634 |
| 資本剰余金 | 8,375 | 8,375 |
| 利益剰余金 | 20,190 | 20,394 |
| 自己株式 | △955 | △955 |
| 株主資本合計 | 36,245 | 36,449 |
| 評価・換算差額等 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 630 | 703 |
| 繰延ヘッジ損益 | 16 | △11 |
| 為替換算調整勘定 | △129 | △136 |
| 評価・換算差額等合計 | 517 | 555 |
| 少数株主持分 | 188 | 186 |
| 純資産合計 | 36,950 | 37,191 |
| 負債純資産合計 | 63,661 | 61,371 |

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成21年3月1日 至平成21年5月31日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年5月31日) |
|--------------|---------------------------------------------|---------------------------------------------|
| 売上高 | 40,410 | 31,747 |
| 売上原価 | 30,350 | 27,023 |
| 売上総利益 | 10,060 | 4,724 |
| 販売費及び一般管理費 | 9,462 | 4,270 |
| 営業利益 | 598 | 453 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 12 | 1 |
| 受取配当金 | 3 | 1 |
| 持分法による投資利益 | — | 42 |
| その他 | 133 | 50 |
| 営業外収益合計 | 149 | 96 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 35 | 6 |
| 持分法による投資損失 | 32 | — |
| その他 | 68 | 69 |
| 営業外費用合計 | 136 | 76 |
| 経常利益 | 611 | 474 |
| 特別利益 | | |
| 貸倒引当金戻入額 | 31 | 33 |
| 補助金収入 | — | 15 |
| 退職給付制度終了益 | 64 | — |
| 特別利益合計 | 95 | 49 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 56 | — |
| 減損損失 | — | 17 |
| 関係会社株式売却損 | — | 24 |
| 役員退職慰労金 | — | 16 |
| その他 | — | 23 |
| 特別損失合計 | 56 | 82 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 650 | 441 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 487 | 107 |
| 法人税等調整額 | △157 | 37 |
| 法人税等合計 | 330 | 145 |
| 少数株主利益 | 209 | 1 |
| 四半期純利益 | 110 | 294 |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 平成21年3月1日 至 平成21年5月31日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 平成22年3月1日 至 平成22年5月31日) |
|--------------------------|-----------------------------------------------|-----------------------------------------------|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 650 | 441 |
| 減価償却費 | 898 | 449 |
| 減損損失 | — | 17 |
| のれん償却額 | 9 | 19 |
| 貸倒引当金の増減額 (△は減少) | △31 | △34 |
| 事業整理損失引当金の増減額 (△は減少) | △882 | — |
| 受取利息及び受取配当金 | △16 | △3 |
| 支払利息 | 35 | 6 |
| 持分法による投資損益 (△は益) | 32 | △42 |
| 有形及び無形固定資産除却損 | 56 | — |
| 関係会社株式売却損益 (△は益) | — | 24 |
| 売上債権の増減額 (△は増加) | △987 | 392 |
| たな卸資産の増減額 (△は増加) | 639 | △1,753 |
| 仕入債務の増減額 (△は減少) | △787 | 3,612 |
| 未払消費税等の増減額 (△は減少) | 73 | △543 |
| その他 | △227 | 11 |
| 小計 | △536 | 2,597 |
| 利息及び配当金の受取額 | 16 | 3 |
| 補助金の受取額 | — | 15 |
| 利息の支払額 | △34 | △4 |
| 法人税等の支払額 | △1,041 | △2,389 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | △1,596 | 222 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有形及び無形固定資産の取得による支出 | △961 | △152 |
| 有形及び無形固定資産の売却による収入 | 6 | 1 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △7 | △6 |
| 連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出 | △164 | — |
| 貸付けによる支出 | △120 | △130 |
| 貸付金の回収による収入 | 441 | 0 |
| 敷金及び保証金の差入による支出 | △190 | △7 |
| 敷金及び保証金の回収による収入 | 113 | 9 |
| その他 | 309 | 27 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △574 | △259 |

(単位:百万円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 平成21年3月1日 至 平成21年5月31日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 平成22年3月1日 至 平成22年5月31日) |
|----------------------|-----------------------------------------------|-----------------------------------------------|
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額 (△は減少) | △30 | 200 |
| 長期借入れによる収入 | 200 | 1,500 |
| 長期借入金の返済による支出 | △143 | △120 |
| 配当金の支払額 | △459 | △436 |
| 少数株主への配当金の支払額 | △42 | — |
| 割賦債務の返済による支出 | △373 | — |
| その他 | △2 | — |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △850 | 1,143 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 52 | 3 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | △2,968 | 1,110 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 12,044 | 12,508 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 9,075 | 13,619 |

- (4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

- (5) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前第1四半期連結累計期間（自平成21年3月1日 至平成21年5月31日）

| | 加工品・ 食肉事業 (百万円) | 外食事業 (百万円) | その他事業 (百万円) | 計 (百万円) | 消去又は全社 (百万円) | 連結 (百万円) |
|-----------------------|-----------------------|---------------|----------------|---------|-----------------|-------------|
| 売上高 | | | | | | |
| (1) 外部顧客に対する売上高 | 29,910 | 9,982 | 517 | 40,410 | — | 40,410 |
| (2) セグメント間の内部売上高又は振替高 | 93 | 0 | 130 | 223 | △223 | — |
| 計 | 30,003 | 9,982 | 647 | 40,634 | △223 | 40,410 |
| 営業利益又は損失(△) | △217 | 834 | △19 | 597 | 0 | 598 |

当第1四半期連結累計期間（自平成22年3月1日 至平成22年5月31日）

前連結会計年度において、外食事業を営むチムニー(株)の全株式を売却いたしました。この結果、加工品・食肉事業の売上高及び営業利益に占める割合が全セグメントの売上高合計及び営業利益合計の90%を超えているため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

〔所在地別セグメント情報〕

前第1四半期連結累計期間（自平成21年3月1日 至平成21年5月31日）及び当第1四半期連結累計期間（自平成22年3月1日 至平成22年5月31日）

全セグメントの売上高の合計に占める日本の割合が90%を超えているため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

〔海外売上高〕

前第1四半期連結累計期間（自平成21年3月1日 至平成21年5月31日）及び当第1四半期連結累計期間（自平成22年3月1日 至平成22年5月31日）

海外売上高の合計が連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。